



四中たより

第11号 R3.12.24(金) 発行責任者 岡中 学 TEL 31-0911

進もう おおらかに
学ぼう うるわしく
励もう たくましく

小中一貫で育てる

今月2日(木)に川南地区のリーダー交流会を行いました。新生徒会長の菅原さんをはじめ、新生徒会執行部の代表6名が、学区の6小学校の児童会の代表と交流を深めました。今年度の目玉は、情報・意見交換の時間を位置づけ、①各小学校の児童会で力を入れて取り組んできたことの成果と課題について、②中学校入学後に生徒会活動などで頑張りたいことについて話し合われたことです。特に②については、中学生からのアドバイスもあり、とても充実した交流会になりました。新執行部の代表もかなり緊張した様子ですが、このような場面を体験しながら、真のリーダーに成長してほしいと思います。



加えて、今月7日(火)～10日(金)と先月の15日(月)には、小学校6年生を対象に中学校体験訪問を行いました。小学校6年生が、1時間、中学校の先生の英語や数学、理科、社会などの授業を体験する機会です。教科の先生方は、小学生が各教科の特質を楽しんで体験できるように様々な工夫を凝らして迎えてくれました。授業の後には、中学校の施設や生徒の授業の様子を見学できて、「楽しかった」「入学式が待ち遠しい」という感想もありました。

また、先月17日(水)には、新堀小学校を会場に、川南地区の7つの小中学校の先生方が一堂に会し、川南地区小中一貫教育合同研修会を行いました。新堀小学校の児童の授業を参観しながら、授業づくりやこれからの川南地区の教育などについて意見交換をしました。「チーム川南」として、小中9年間で子どもを育てる視点が確認されました。

リーダーが考える四中の良さ と 課題

今月の16日(木)には、新生徒会役員がリードする生徒委員会、翌17日(金)には、生徒運営委員会(生徒会執行部員+各委員長+各学年生徒会長・副会長)を行いました。今回の生徒運営委員会は、3年生の執行部員にアドバイザーをお願いしながら、四中の「引き継いでいきたい良さ」と「改善していきたい課題」をグループで協議しました。

引き継いでいきたい四中の良さ	改善していきたい課題
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・清掃(きれいさ、遊ばない、一文字拭き) ・メリハリができています ・部活動を頑張っている ・委員会活動など、何事にも一生懸命 ・団結力 ・行事への積極的な取り組み ・四中スタンダードの活動 ・自分の仕事をしっかりできている ・四中の文化を引き継いでいる ・元気で活発 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしてくれる人とそうでない人の差 ・清掃への取り組みや開始時間に遅れる ・チャイム着席、授業の準備ができていない ・私語や居眠り、宿題の提出などの授業態度 ・10分休みや昼休みの過ごし方(ホールでの遊び方、廊下を走る、鬼ごっこをする) ・キャンペーンの後の意識が下がる ・クロームブックの使い方 ・悪いことをしている人に流されやすい

四中スタンダードの取り組みや四中文化の継承など、今の自分たちに誇りを持って生活している良さもあれば、例えば「あいさつ」のように、良さにも課題点にもどちらにも出てくる項目もありますし、生活や授業への取り組みで気になる点などもあげられました。よりよい学校、過ごしやすい雰囲気を生徒自ら

の手で創るのが自治活動です。これから捉えた課題をどんな手立てで改善していくのか、その取り組みの過程に期待するとともに、私たち教師も寄り添いながら支援をしていきたいと思ひます。

成長の2学期

84日間の2学期が終わろうとしています。2学期のスタートは、コロナのデルタ株による第5波の感染拡大の真ただ中で、様々な制限が付きまといました。生徒や保護者の皆さんには、感染対策に対する様々な面でのご理解とご協力をお願いすることがありました。改めてご協力に感謝を申し上げます。このような状況の中、世の中では、オリンピックでの日本人選手やMLBでの大谷選手の活躍で、今年の漢字には「金」、流行語には「リアル二刀流・ショータイム」が選出されました。皆さんにとってはどんな2021年だったでしょうか。

本日の2学期終業式では、1年：阿部心緒さん、2年：奥山千依さん、3年：奥泉俐空さん、生徒会：前田心和さんが、しっかりと2学期の振り返りを発表し、締めくくることができました。明日からは、1月6日（木）まで13日間の年末年始休業になります。各家庭で過ごす時間が多くなりますので、規則正しい生活と学習はもちろん、家族の一員としての役割（お手伝い）なども積極的に担わせていただければと思ひます。ある程度コロナ禍は落ち着いていますが、感染対策と健康管理にご留意いただき、年明け7日（金）の3学期始業式に全員が元気に集えますようよろしくお願ひいたします。

2学期終業式 校長のはなし（一部抜粋）

私が、一番充実し、皆さんの協力や団結、成長を感じたのは、「四中フェスタ・文化の祭典」です。仲間とよりよいものを創る難しさを感じながら、それを乗り越え、やり遂げた後の充実感や達成感を存分に学んだと思ひます。

先日は、後期の生徒運営委員会が行われました。3年生からの助言をもらいながら、グループによる話し合い活動を取り入れ、新しいリーダーたちが、四中の良さや課題について議論しました。自分たちの生活を深く見つめ、改善していこうとする一歩を踏み出しました。それを受けて、3学期にどんな活動が展開され、全校生徒の協力のもと「四中の当たり前」がどう向上していくかとても楽しみです。期待しています。

また、学校や地域の一員として誇れる「貢献をする姿」もありました。

- ①学校生活の中で、けがをして松葉づえで生活している仲間やその家族に声をかけたり、支えてくれたりしてくれました。その家族の方には感謝のお手紙をいただいています。
- ②9月頃、避難訓練のお話の中で紹介しましたが、3年生5名が、自転車で転倒し、けがをしたお年寄りの介助を行いました。
- ③同じように1年生も道端で転倒したお年寄りに付き添って、家まで送って行ってくれました。先輩のあたたかい心と勇気を、後輩がしっかりと受け継いだ姿でした。
- ④3年生が、現金やキャッシュカード、運転免許証の入った財布を拾って、届けてくれました。

どれも、世のため人のため、困った人には、見返りを求めることなく、さりげなく手を差し伸べる、まっすぐで、あたたかくて、勇気ある行為だと思ひます。

詩人で作詞家の宮沢章二さんの「行為の意味」という詩があります。その抜粋ですが、

「心」はだれにも見えないけれど「心づかい」は見える

同じように「胸の中の思い」は見えないけれど「思いやり」は見えるのだ

それは人に対する積極的な行為なのだから

「あたたかい心」が「あたたかい行為」になり「やさしい思い」が「やさしい行為」になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる それは人が人として生きること

という詩です。皆さん、どう感じますか？

明日から13日間の冬休みです。一日一日、家族とともに、積極的な「思いやり」や「心遣い」があふれる中で、それぞれの役割ややるべきことを果たしながら、よりよい生活になるようにしましょう。

**今年一年、大変お世話になりました。
来年もよろしくお願ひいたします。
よいお年をお迎えください！**

